



#### ·概要

本ツールは同一の PC で BricsCAD の旧バージョンのプロファイル(環境)を新バージョンに引き継ぐためのツール です。

BricsCAD は、新しいバージョンと古いバージョンが共にインストールされているとき、新しいバージョンを始めて 起動すると、プロファイルなどの設定を新しいバージョンに移行するかどうかの確認のダイアログが表示されます。 この時に環境を移行しないを選択した場合、後から設定を引き継ぐことができません。

BricsCAD NW(BricsCAD ネットワーク版クライアントインストーラ)のインストール時には旧バージョンがアンインスト ール(デフォルト)されます。その為、旧バージョンの環境移行を行うことができません。

本ツールでは旧バージョンをアンインストールした後でも、旧バージョンのプロファイルを新しいバージョンの BricsCAD に移行することができます。

ダウンロードファイル:BMig.zip ダウンロードファイルを解凍します。 プログラム名: BMig.exe

### ·事前準備

解凍された BMig.exe を任意の場所にコピーします。

### ·使用方法

- 1. BMig.exe をダブルクリックします。
- 2. 旧バージョンの環境(プロファイル)が移行されます。

移行対象プロファイル

- ・ログオンユーザーのすべてのプロファイル
- ・ログオンユーザの LocalRootFolder※1
- ・ログオンユーザの RoamableRootFolder (default.cui と tipofday.txt \*.lnk は除く)※2
- ・default.cui に含まれる部分 cui ファイル※3
  - ※1 LocalRootFolder は、主にテンプレートがコピーされるフォルダです。
- ※2 RoamableRootFolder は、メニューなどがコピーされるフォルダです。
- ※3 旧バージョンのメニューファイル(default.cui)は新しいバージョンのメニューファイル(default.cui)に 置き換えられます。ただし、追記された部分については、新しいバージョンのメニューファイルにも、 追記されます。

	BricsCAD 設定移行ツール
BNIG ®	設定の移行先となる BricsCAD を検出しています 設定の移行元となる BricsCAD のプロファイルを検

# インストール先がデフォルトでは無い場合のプロファイルの移行

旧バージョンのインストールの既定値(V14の例)

"%Program Files%¥Bricsys¥BricsCAD V14 ja\_JP" (V14 の部分はバージョン、bit によって変わります)

旧バージョンのインストール先が上記のデフォルト(既定値)では無い場合、任意に指定する必要があります。

1.BMig.exe と同じ場所にメモ帳などで BMig.txt を作成します。

2.BMig.txtを開き下記のように記述します。(インストール先:Dドライブの例)

[V14]

InstallDir=D:\Programs\BricsCAD V17

BMIg.exe	8	Migjiki			
BMig.	txt - メモ帳			_	x í
ファイル(F)	編集(E)	書式(O)	表示(V)	ヘルプ(H)	
[V14] InstallDir	=D:¥Pro	ograms¥l	BricsCAD	V17	< >
<					÷

バージョンをセクション名とし、"InstallDir"をキーとして、インストール先のフォルダをフルパスで記述します。 ただし、そのバージョンの BricsCAD が既存でインストールされている場合は、インストール先は設定ファイルで はなく、レジストリから取得されます。

# ・複数のバージョンがインストールされている場合の移行

移行元または移行先のバージョンが複数存在する場合、選択するためのダイアログが表示されます。 移行元のバージョンと移行先のバージョンを選択してください。

例) V13, V14, V16 のプロファイルが残っていて、V17 がインストールされている場合 「移行元」から V13, V14, V16 のどちらから移行するかを選択します。

BricsCAD 設定移行ツール	BricsCAD 設定移行ツール
設定の移行先となる BricsCAD を検出しています 設定の移行元となる BricsCAD のプロファイルを検 移行バージョンの設定 ×	設定の移行先となる BricsCAD を検出しています 設定の移行元となる BricsCAD のプロファイルを検 移行バージョンの設定 ×
複数の移行対象があります。 設定を移行するパージョンを指定してください。	複数の移行対象があります。 設定を移行するパージョンを指定してください。
┣移行元(S): V16×64 ~	移行元(S): V16×64 V
移行先(T): V17x64 ~	V10x04 移行先(T): V14x64 V13x64
OK キャンセル	OK キャンセル

# ・コマンドライン オプション

以下のコマンドラインオプションが使用可能です。

オプション	説明
/1	ログファイルのパスを指定する。指定が無いときは、%TEMP%¥BMig.log に作
	成される。
/s	確認のメッセージボックスなどを出さずに実行する。
/sourse バージョン	移行元バージョンを指定する(例:/source V14)。
	サイレントモード時で指定が無いか無効な場合、インストールされている最新
	の BricsCAD 未満で、最も新しいバージョンのプロファイルが移行元となる
/target バージョン	移行先バージョンを指定する(例:/source V12)。 サイレントモード時で、指定
	が無いか無効な場合、インストールされている最新の BricsCAD が移行先と
	なる。

複数のバージョンのプロファイルが残っている場合、コマンドラインにて"BMig.exe /source V14" 等のようにオプ ションキーを使用して有効なバージョンを指定して実行することが可能です。 この場合は、画面上でバージョンを選択することなく移行処理が行われます。

### ·制限事項

- ・ツールの実行前に、ログオンユーザで一度 BricsCAD を起動し、終了しておく必要があります。
  ※LocalRootFolder と RoamableRootFolder のいずれかが無い場合、処理を中止します。
- ・default.cui に加えられた変更は元に戻ります。(メニューの並び替えなども含む)
- ・新しいバージョンのプロファイルを古いバージョンに移行することはできません。
- ・V15から対応のリボンメニューは引継がれません。

以上